

<活動のねらい>

春日山の自然や、人、生き物、歴史など、様々な出会いとかかわりの中で、春日山の環境・文化について学ぶ活動に取り組み、これからのふるさと春日への思いや願いを広げ、深める。

<活動テーマ設定の意図>

3年生では、「春日山」のよさを調べたり味わったりする活動を通して、ふるさと「春日山」への愛着を深め、春日山のよさや楽しさを盛り込んだ「出陣！つばさ探検隊～春日山の宝を見つけよう～」を考え、提案する活動に意欲的に取り組んだ。4年生では、これからの春日山を意識しながら、豊かな自然や歴史的価値を大切にする人たちから学んだり、共に活動したり、各自のテーマに沿って調べたりしていく。そして、「ふるさと春日山の素晴らしさ」をさらに掘り下げ、いろいろな人に伝えることを通して、未来の春日山地域への思いや願いをさらに広げ、深めていきたい。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
<1学期活動のねらい> みんなで学ぼう 春日山（30 時間） - 春日山にかかわる人々と出会ったり、取組に参加したりすることを通して、春日山の自然、環境の現状をつかみ、未来への展望をもつ。 ○春日山について学び、調べる。 - 季節ごとに春日山を探検し、発見や気づきを蓄積する。（通年を通して実施） ※各自の気づきを一つの大きなマップに集約していく。 ⇒気づきの共有、ICT の活用 （5 月） - 春日山の野鳥について学ぶ。：中村雅彦氏（上越教育大学名誉教授） （4 月 1 5 日） - 探鳥会（5 月 1 日） - 春日山の環境について学ぶ。：文化行政課学芸員（4 月 日） - 春日山の環境整備作業を体験する。：松葉かき（6 月 日） （春日山城跡保存整備促進協議会） 「義の土一袋運動」に取り組む。（6 月 日） おもてなし武将隊 謙信公：太田さん - 謙信公祭について学ぶ。：謙信公祭実行委員会：太田さんの講話（7 月） - 提灯づくりの実施：太田さん（R5）、市職員 上越教育大学学生ボランティア、 - 謙信公祭前夜祭提灯行列への参加。（希望者、保護者同伴）（8 月 2 1 日）					<2学期活動のねらい> みんなで守ろう 春日山（25 時間） - ふるさと春日山を守り維持する活動を体験し、春日山を大切にするこ とについて考えを深める。 「義の土運び」体験 ○春日山保全活動について学ぶ。 - 自分たちができる保全活動を実施する。 （文化行政課学芸員）の連携 「義の心講演会」：義の心の会会長 石田 明義様 「義の土一袋運動」（2 回目：9 月 日） 「春日山保全活動」（登山道清掃、看板清掃、義の土：1 0 月 日） - 保全活動実践レポートの作成。 記録の蓄積 iPad 活用 ○ふるさと春日山の素晴らしさを伝え、広める方法を考え、取り組む。 - グループ別追究活動をする。（4 グループ） ※子どもたちの視点に沿った追究テーマの設定と調べ方 多様な発信の仕方 ①⇒景色・自然の事象・生物 ②⇒鳥の声・せせらぎ・そよぎ ③⇒香り・におい 調べたこと 教わったこと 学んだこと ⇒歴史・文化財 守っている人 活動している人 伝える人 過去・現在・未来へつなぐ人				<3学期活動のねらい> みんなで広めよう 春日山（15 時間） - 春日山にかかわる様々な人々と出会い、地域の環境・文化について学ぶ活動を通して、未 来のふるさと春日山への思いや考えをまと め、発信する。 ○まとめ方、発信・提案の仕方を工夫する。 ※地域の人たち、家族、お世話になった皆さん など、相手意識をもって、伝えたい内容を主 体的に考えさせる。（2 月学習参観） A：謙信公祭（歴史・武将隊・提灯行列）グループ B：春日山保全活動（義の土・松葉等）グループ C：探鳥会、自然（春日山の野鳥等）グループ D：春日山（自然災害、生き物、歴史等）グループ ※春日山パンフレット 春日山紹介ブック 春日山ツアーパンフレット 春日山新聞 ポスター、チラシ、人形劇等 春日山フェスタの開催 春日山キャラクターの考案 など 		